

進路だより

令和3年度 1学期
栃木県立聾学校 進路指導部
令和3年7月21日発行

1学期に進路指導部で行った主な行事を紹介します。

特別支援連携協議会 5/20(木)

新型コロナウイルス感染症の影響により2年ぶりの開催となりました。午前は、福祉関係の方々や栃木県障害福祉課の方々、午後は、企業関係と労働行政関係の方々をお招きし、協議会を実施しました。午前は、「コロナ禍の中での移行に伴う様々な課題」、午後は、「コロナ禍での職場定着に向けた取り組み」というそれぞれのテーマで話し合いました。①利用者のうなずきが納得・理解のうなずきではなく聞いているといううなずきであるということを感じたという報告や②全員がマスク着用しているためグループトークに参加できないことの報告、③メンタル面の相談の増加に伴う対処の仕方が変わってきているなどが話題に出ました。また、在学中に必要なことへのアドバイスや具体的な状況に応じた多くのご意見をいただき、今後の指導に生かしていきたいと考えています。

高等部 職場見学(A,B組) 6/15(火)

清原住電株式会社を訪問しました。光ファイバーの製造工程を見学させていただき、働いている方々の仕事に対する熱心さを感じました。また、卒業生から、自分から積極的にコミュニケーションを取ることの重要性や仕事に対する責任感の大切さなどを話していただき、今後の進路決定の意識付けを図ることができました。



中学部 進路の時間 6/15(火)



第一回目の進路の時間では、高等部の先生から、高等部の各学科(普通科・情報機械科・生活技術科)が実際にどんな学習をしているのかを、写真や具体物等で、詳しく教えていただきました。生徒たちはみな真剣に話を聞いていて、将来やりたい仕事を見据えながら、高等部への理解を深めることができたようです。

小学部 進路の時間(4,6年1組) 6/22(火)

聴覚障害のある先生の話をお聞きしました。聴覚障害のある大人の人たちがどんな仕事をしているのか聞いた後、将来の夢のために今やるべきことは何かについて確認しました。やりたい仕事を選ぶようにするためには好きなことを増やす必要があること、様々な聴覚障害のある方と話せるようになるために手話をもっと使った方がよいことを知りました。今回学んだことをこれからの生活で思い出しながら過ごしてもらいたいです。



小学部 進路の時間（1, 2, 3年1組） 6／29（火）



聴覚障害のある先生の話の話を聞きました。上手なコミュニケーションをするために必要なことを確認しました。友達と話すときには、手話や指文字を使ってゆっくりと話すと、相手が何を話しているか分からないときには聞き流さず「もう一回」と聞き返すことの大切さを知りました。友達と楽しく話すために、今回学んだことを普段の生活でも生かしてもらいたいです。

中学部 職場見学（A組） 6／30（水）

昨年度の卒業生が働いている住友電工電子ワイヤー株式会社を見学しました。

先輩の働いている部署は、塵やほこりが入らないよう厳重に管理されているため、防塵服を着て見学しました。

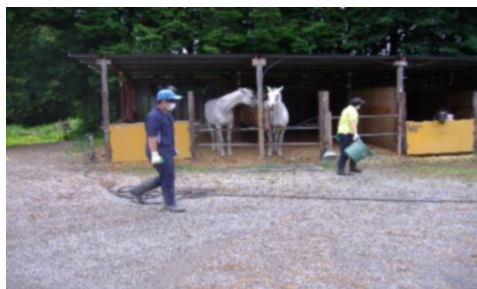
会社の方からは、「明るく、元気である」、「挨拶ができる」ことが働く上で大切なこととお話をいただきました。

立派な社会人としての顔つきになっていた先輩からは「挨拶をきちんとすること」と「いろいろな人とコミュニケーションをとること」が一番大切だと教えていただきました。

見学後は、コミュニケーション力を高める大切さに気が付き、それぞれの進路について前向きに考える様子がみられました。



高等部 産業現場等における実習（C, D組） 6月



高等部では、「働く力」を身に付けたり、卒業後にどんな仕事をしたいかイメージをもちやすくしたりするために、福祉作業所での実習を行っています。今回は、2・3年生が、各生徒の居住地域の福祉作業所にて2週間程度（10日間）の実習を行いました。コロナウイルス感染症の流行の影響で、昨年度は3学期の実習が中止になり、久しぶりの実習でした。生徒たちは自分の目標をしっかりと持ち、休まずに実習に通うことができました。実習先では、チラシ折り、ホチキス留め、ペンの袋入れ、シール貼り、段ボールの箱折り、洗車、馬小屋の清掃作業などに取り組みました。様々な仕事を体験すること以外にも、指示が分からないときは自分から聞きに行ったり、筆談を行ったりして、場や相手に応じた方法でコミュニケーションを取る練習をする良い機会となりました。今回の実習で見つけた課題を、普段の生活でできるようにし、次回の実習に生かしてほしいと思います。